



遠くへ飛んで!!

10月5日  
産業文化まつり  
「うめの種とばし」ゲーム

# 2000

芸術の秋 実りの秋 食欲の秋 満喫

# 産業文化まつり

秋の祭典「二〇〇〇金木町産業文化まつり」が十一月三日から五日まで、中央公民館とトレーニングセンターで開かれ、連日大勢の町民でにぎわいました。



▶美しい作品の数々に思わずうっとり

文化まつりの部では、児童、生徒や各サークルの会員たちが歌や踊り、演奏など日ごろの練習成果を披露。他にも、町民歌謡祭や歌謡ショーなど盛りだくさんの催しが行われ



▶サントピアホームの方たちの様々な作品

ました。また、場内には公民館サークルや一般町民の書道や絵画、工作などの力作がずらりと並び、芸術の秋を満喫する家族連れでにぎわっていました。



▶みんな上手だなあ

産業まつりの部では、おいしい地場産物の販売と各種の楽しいゲーム大会、豪華賞品が当たる抽選会など多くのイベントが行われました。実りの秋を味わう、いも煮



▶たくさん作品が展示された会場内

会と新そば・新米の試食会。サイコロチャレンジゲームや綿あめ作り体験には長蛇の列ができ、子どもからお年寄りまで大勢の参加者で盛り上がっていました。



▶超満員！金木町出身「北川ゆきえ」歌謡ショー





▲豪華商品はだれの手に? 「お楽しみ抽選会」



▲何が当たるかな? 農産物ゲット「サイコロチャレンジ」ゲーム



▲子どもたちはゲームに夢中「マリオテニス64」トーナメント

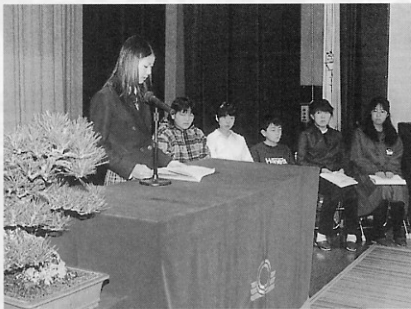


▲まんまる綿あめ上手にできたよ



▲ヤワラちゃんかかしなどユニークなかかしがお出迎え

▶作品を朗読する  
内海 咲子さん(金木高)



十一月三日、平成十二年度「太宰文学作品読書感想文・地域生活作文」入選者の表彰式が中央公民館で行われました。  
金木町太宰会(会長 川木下巽)が毎年発行している文集「新樹」作成のため、

## 太宰会文集 「新樹」 72点が入選



町内小・中・高校から作品を募集しているもので、太宰文学に親しみ、町の良さを実感してもらおうと平成七年から行われています。今回は百十五点の作品が集まり、審査の結果七十二点が入選しました。

表彰式では、各学校の代表七人に木下会長から賞状が贈られ、続いて喜良市小四年の工藤大志くんと金木南中三年の津島絵里佳さん、金木高三年の内海咲子さんが作品を朗読しました。

感性豊かな子どもらしい作文、太宰文学の本質に迫る感想文の発表は読書の秋にふさわしく、会場内からも大きな拍手が送られていました。

## 金木町幼小中音楽発表会

### 響きわたるハーモニー

金木町小中学校長会主催の第七回金木町幼小中学校音楽発表会が十一月十日、金木南中学校体育館で開催されました。

発表会には、園児、児童、生徒三百六人が参加。金木幼稚園年長組による元気あふれる鼓笛演奏から始まり、各小・中学校の児童、生徒たち

が合唱や吹奏楽など日ごろの練習成果を披露しました。

喜良市小学校の津軽三味線の演奏や金木小学校の迫力ある吹奏楽演奏、全校児童が心を一つにして合唱を披露した川倉小学校など、会場内には美しいハーモニーが響き、集まった来賓や父母たちから大きな拍手が送られていました。



▲息の合った合奏 とても上手にひけました

## 津軽半島の観光を考える

### 活性化フォーラム

津軽半島観光キャンペーン実行委員会主催の「津軽半島活性化フォーラム」が十月二十一日、津軽三味線会館多目的ホールで開催されました。

それぞれの津軽半島への想いを率直に語り合い、観光の発展と活力ある半島につなげようといわれたもので、今年二月に地吹雪体験ツアーのボランティアガイドをした東京都内在住の男女四人と津軽半

島三市町村の観光担当課長がパネラーとしてそれぞれの意見を出し合い、実行委員会代表の角田周さんがコーディネーターを務めました。

県外から見た津軽半島のイメージや観光客のニーズなどについて意見を交わしながら、交通アクセスや観光PRの現状と問題点を一つひとつ取り上げ、今後の課題について熱く語り合いました。



▲和やかに意見を交わし合う参加者ら

## 津軽鉄道70周年記念

### きしゃつこカーニバル



▲オークションの品定めをする鉄道ファン

十月二十八、二十九日の両日、津軽鉄道の五所川原―中里間全線開業七十周年を記念して「津鉄きしゃつこカーニバル」が開催され、記念列車の運行や鉄道模型ショーなどたくさんの催しが行われました。

津軽鉄道がこのような記念イベントを行うのは今回が初めて。平成六年から無人駅となつている芦野公園駅では、特別に窓口営業された他、鉄道部品や記念切符などの販売とオークションが行われました。販売された商品は、最近ま

で使用していた鉄道の部品や年季の入った制帽、記念切符や切り売りのレールなど、めつたに手に入らない物ばかり。特にオークションとなった鉄道のヘッドマークや制服などが、集まった鉄道ファンの注目を集めていました。

お客さんの応対に大忙しの津鉄職員は「開催前から全国より問い合わせが殺到し、反響に驚いています。良く売れている商品は硬券乗車券やレール。オークションの値がいくらになるか楽しみです」と話していました。



お年寄りの心とからだを知る

## 役場職員が高齢者疑似体験



体の不自由さを実感  
階段を下りるのも大変です

高齢者の心とからだを  
理解してもらおうと、五  
所川原保健所主催の平成  
十二年度まごころケア教  
室「高齢者疑似体験」が  
十一月九日、役場職員が  
参加して行われました。

この疑似体験は、耳栓  
や特殊メガネ、手足の重  
りなどのセットを装着し  
て、お年寄りになった時  
の身体的機能の低下や心理的  
変化を疑似的に体験するもの。  
セットを装着した職員らは、  
白内障による色覚変化や思う  
ように動かない体で新聞を見  
たり買い物をする際の大変さ  
を実感していました。

疑似体験をした職員は「い  
つもなら簡単にできることが  
思うようにできない。目や耳  
の不自由さを実感した」「こ  
れから窓口で接する際は、も  
つと思いやりを持ってできる  
ようにしたい」と話していま  
した。

## 災害に備え

# 総合防災訓練

平成十二年度金木町総合防

災訓練が火災予防週間最終日  
の十月二十二日、金木町消防  
団員や金木町消防署員、嘉瀬  
婦人防火クラブ員ら約二百人  
が参加して行われました。

金木消防署前で行われた開  
会式では、鳴海町長が「近年、  
災害発生の危険度が高まりつ  
つある。一同が、常に団結を  
強め、有事には緊密な連携が  
取れるよう不断の精進が必要  
です」と訓示を述べました。

続いて、地震発生による出  
火、山林火災を想定して、喜  
良市双葉町山林で中継放水放  
水訓練が行われました。消防  
団員らは、素早い動きで二十  
メートルのホース十六本をつ  
なぎあわせ、用水路から水を  
汲み上げ、山林火災の消化訓

練を行いました。

また、この後津軽鉄道金木  
駅ではストープ列車での火災  
を想定した救出・救急搬送訓  
練が行われ、津軽鉄道職員や  
津軽地吹雪会のスタッフらが  
参加しました。通報や乗客の  
誘導、ケガ人の救出が本番さ  
ながらに行われ、真剣な表情  
で災害時の対応を確認してい  
ました。

この他、消防署員の指導に  
より、救急講習会と消火器を  
使った消化訓練が行われ、地  
域の防災体制の強化が図られ  
ました。

施設の完成を祝い、  
式に出席する関係者



## 「大豆乾燥調製施設」竣工式 津軽北部農協

経営基盤確立農業構造改善  
事業を受けて建設された、津  
軽北部農業協同組合（代表理  
事組合長 中谷藤太郎）の「大  
豆乾燥調製施設」がこのほど  
完成し、十月二十四日に竣工  
式が行われました。

式には、農協関係者ら百人  
が出席。はじめに竣工祭（神  
事）が行われ、代表者が玉串  
を奉奠した後、中谷代表理事  
組合長が作動スイッチを押し、

運転が開始されました。

津軽地区での大豆栽培は、  
転作作物としての導入などに  
より増加傾向にあるため、品  
質の向上や出荷規格の統一、  
出荷量の確保を図るための乾  
燥調整施設の整備が急がれて  
いました。

この施設の完成により、販  
売力の強化が可能となり、収  
益の向上が望めます。今年  
度は、栽培面積をおよそ一・  
五倍にし、出荷目標は五三四  
tを見込んでいます。

列車内からけが人を救出



▲けが人の手当と搬送をする消防署員